

えりも中学校における

中高一貫教育について

中高一貫教育として、今年度のえりも中学校が取り組む内容について紹介します。

1 高校教員によるTT授業

(英語科・数学科・体育科)

えりも中学校では、数学と英語の時間にえりも高校の先生が来校し授業を実践しています。TTとして指導してもらうほかにも、高校で学習する内容の話をしてもらうこともあります。

英語・数学については、3学年の英語は「松本公輔先生」、数学は1学年に「前川太郎先生」に来ていただいています。

また、体育科においては高校の体育科の「林宏幸先生」と「田中優樹先生」の協力を受けて、体力テストを実施しています。中高6年間での体力向上をめざし、本校の生徒の体力の傾向を十分に理解してもらう機会になっています。

この他にも3年生の3学期に実施する「乗り入れ授業」では、各教科の先生に来校していただき、高校入学後に学習面などでの課題を抱えないために、中学校の教員とともに授業を実施する予定です。このように高校教員の乗り入れによって、本校生徒の学力のさらなる定着をめざした取り組みを本年度も計画的に実施する予定です。

2 環境フィールド学習

(1) 百人浜に学ぶ講演会

6月11日(月) 3・4時間目に日高南部森林管理署えりも治山事業所治山技術官の瓜田元美氏を講師に招き、百人浜緑化事業の歴史について学習しました。

社会では、えりも緑化と歴史についてNHKの「プロジェクトX」の番組DVDを視聴して、百人浜の歴史的経緯を学習しました。また、理科では「環境問題と森林の大切さ」についての映像を視聴して森林破壊について学習を深めました。

えりもの未来を担う本校の生徒に、緑化事業の意義や大切さを学んでもらうために毎年企画しているこの学習は、今年度も生徒にとって多くのことを学べる意義のある機会となりました。

(2) 百人浜に学ぶフィールド学習A

6月18日(月)、えりも中学校の1年生が百人浜で植樹を行いました。前半は、えりも町林業総合センターでの植樹をする上で土台となる「カミネッコ」を製作し、後半は、百人浜へ行き、「カミネッコ」にシラカバ、ヤチハンノキなどの苗木を入れて土に埋める作業を行いました。

(下の写真は今年度の様子)



上記の他にも保護者を対象として行われる「えりも高校学校説明会」、全学年を対象として実施する「進路講話」、3年生が対象の「職業別ガイダンス」、また、2年生が対象の「1日体験入学」など、生徒のよりよい成長のために中高一貫教育の良さを十分に生かした教育活動を進めていきます。